

環境

環境マネジメント

環境基本方針

有

「JR九州グループ地球環境への取り組み」に含む（2019/9/4 URL更新）
http://www.jrkyushu.co.jp/company/esg/env/basic_policy.html

指標	データの対象	単位	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
エコロジー委員会開催回数（各専門部会含む）※1	単体:JR九州	回	4	4	4
ISO 14001 認証取得数	連結：JR九州グループ	件	3	3	2

※1 環境保全への対策を継続的に進めるため、基本方針などの必要事項の審議・決定を行う社長を委員長とする機関

気候変動

指標		データの対象	単位	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
CO ₂ 排出量	鉄道部門	単体:JR九州	千t-CO ₂	387	354	321
	その他	単体:JR九州	千t-CO ₂	9	8	8
	計	単体:JR九州	千t-CO ₂	396	363	330
電気使用量	鉄道部門	単体:JR九州	千kWh	646,500	659,035	625,487
	その他	単体:JR九州	千kWh	16,418	18,005	18,892
	計	単体:JR九州	千kWh	662,918	677,040	644,379
ガス使用量		単体:JR九州	千m ³	589	489	469
その他燃料使用量※1		単体:JR九州	千kl	22	19	17
省エネ型車両の導入割合※2		単体:JR九州	%	76.6	77.0	78.5
フロン排出量※3		単体:JR九州	t	1,719	1,103	1,000

※1 電気、ガス使用量を除くエネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）報告対象のエネルギー

※2 「JR九州低炭素社会実行計画」で2031年3月期までに「省エネ型車両の導入割合」を83%にする数値目標を設定

※3 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に定められる第一種特定製品の排出量

資源

指標	データの対象	単位	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
水資源使用量※1	単体:JR九州	千m ³	653	639	663
OA用紙使用量※2	単体:JR九州	千枚	55,608	53,345	49,453

※1 上水道のみ

※2 A4サイズ換算

化学物質

指標	データの対象	単位	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
化学物質排出量・移動量※1	石綿	kg	1,600.0	2,800.0	8,000.0
	エチルベンゼン	kg	2,000.0	2,200.0	1,900.0
	キシレン	kg	2,600.0	2,900.0	2,200.0
	スチレン	kg	5,300.0	4,700.0	4,300.0
	トルエン	kg	3,927.7	3,534.9	3,505.5
	メチルナフタレン	kg	40.1	42.4	41.3

※1 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき行政に排出量・移動量を届け出た2事業所における対象物質を対象